

新旧対照表

改正後	現行	備考
<p>2. 掲載論文</p> <p>6) 論文投稿に際し、原著論文並びに調査報告で人を対象とする研究の場合は、受けた倫理審査の手続き、承認を与えた倫理委員会の名称、承認番号等を記載する。また、記述においてプライバシー侵害がなされないように細心の注意を払うこと。</p>		新設
<p>4. 執筆要項</p> <p>4) 総説・原著・調査報告・症例報告・短報論文の様式</p> <p>(3) 内容要旨</p> <p>編集者への手紙を除いて500字以内（短報は300字以内）に日本語にまとめ、以下のような小見出しをつける。</p>	<p>4. 執筆要項</p> <p>4) 総説・原著・調査報告・症例報告・短報論文の様式</p> <p>(3) 内容要旨</p> <p>編集者への手紙を除いて500字以内（短報は300字以内）にまとめ、以下のような小見出しをつける。</p>	追加
<p>4. 執筆要項</p> <p>4) 総説・原著・調査報告・症例報告・短報論文の様式</p> <p>a. 本文とは別紙に、表題の英訳及びローマ字つづりの著者名、所属の英文名を記す。</p> <p>著者名のあとに、以下の略号を用いてそれぞれの称号あるいは資格を付記する。</p> <p>医師：M.D., M.D., M.I.A.C. あるいは M.D., F.I.A.C.</p> <p>歯科医師：D. D. S. とし、それ以外の称号あるいは資格は医師と同様に付記する。</p> <p>臨床検査技師：M. T., C. T., J. S. C., C. T., I. A. C., C. T., C. M. I. A. C., C. T., C. F. I. A. C. などを記載する。</p> <p>b. 論文採択後に英文抄録を提出する。</p>	<p>4. 執筆要項</p> <p>4) 総説・原著・調査報告・症例報告・短報論文の様式</p> <p>本文とは別紙に、表題の英訳及びローマ字つづりの著者名、所属の英文名を記す。</p> <p>著者名のあとに、以下の略号を用いてそれぞれの称号あるいは資格を付記する。医師：M.D., M.D., M.I.A.C. あるいは M.D., F.I.A.C.</p> <p>歯科医師：D. D. S. とし、それ以外の称号あるいは資格は医師と同様に付記する。臨床検査技師：M. T., C. T., J. S. C., C. T., I. A. C., C. T., C. M. I. A. C., C. T., C. F. I. A. C. などを記載する。</p>	追加
<p>(8) 図（写真を含む）・表</p> <p>a. 論文投稿時の図、表及びそれらの説明（legend）に用いる文字は英文和文で作成する。図、表は Fig.1, Table 1 などのようにそれぞれの番号をつけ、簡単な英文和文のタイトルと説明を付記する。</p>	<p>(8) 図（写真を含む）・表</p> <p>a. 図、表及びそれらの説明（legend）に用いる文字は英文和文で作成する。図、表は Fig.1, Table 1 などのようにそれぞれの番号をつけ、簡単な英文和文のタイトルと説明を付記する。</p>	追加
<p>8) 英文校正証明書</p> <p>a. 和文論文では、論文採択後に行う英文提出時に作成した英語表記部分、要旨ならびに図表説明について、英文校正証明書を添付することを要する。</p> <p>b. 英文論文の全文について英文校正を終了し、校正証明書の添付を要す。</p>	<p>8) 英文校正証明書</p> <p>投稿時、著者は和文論文の英語部分、英文論文の全文について英文校正を終了し、校正証明書の添付を要す。</p>	追加